

1 単元名 Speaking Plus 4 電話の会話－申し出る、伝言をたのむ（NEW HORIZON English Course 3）

2 目標

- (1) 基本表現を用いた言語活動に積極的に取り組もうとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 電話の応答で、相手に申し出たり、伝言を頼んだりすることができる。 (表現の能力)
- (3) 電話での応答の内容を理解することができる。 (理解の能力)
- (4) want/tell を用いた不定詞の文の意味や用法を理解することができる。 (言語や文化に対する知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 単元のねらい

マイクがジュディに電話をかけるが、ジュディの母が電話に出て留守であると告げられる。話したい相手が留守だった場合の会話を通して、to 不定詞を用いて、申し出たり、伝言を頼んだりする表現を学ぶことをねらいとしている。

(2) 生徒の実態

(3) 指導の工夫

- ・授業の最初に前時の内容や既習の表現を繰り返し反復練習することで、基礎・基本の定着を図る。
- ・ワークシートにヒントを載せるとともに、どのような状況で基本表現を使うのかイメージさせながら表現できるようにする。

4 指導と評価の計画（2時間扱い）

次	学習内容	時	評価の観点				主な評価規準
			関	表	理	言	
1	want/tell+人+不定詞の表現を用いて、電話で伝言を頼むスキットを作る。	1 本時		○		◎	want/tell を用いた不定詞の形・意味・用法を理解し、適切に伝言を頼むことができる。
2	作ったスキットをもとに暗記をし、ペアで会話を発表する。	2	○	◎			ペアで、電話で伝言をするスキットを発表することができる。

5 本時の学習

- (1) 目標 want/tell を用いた不定詞の形・意味・用法を理解し、電話で伝言を頼むことができる。
- (2) 研究テーマとの関連
ペア活動での学びあいを通して、互いに協力し、意欲的に活動することができる。
- (3) 人権教育の視点と関連
ペア活動を通して、互いに協力し、学びあいながら粘り強く学習する態度を育てるとともに、他者の意見を大切に思いやりの心を養う。(①人間尊重, ④連帯・協調)
- (4) 準備・資料
①自己評価カード, ②フラッシュカード, ③ピクチャーカード, ④ワークシート, ⑤電話

時間	学習内容・活動	形態 資料	支援・指導上の手立てと評価	
			T 1	T 2
2	1 はじめの挨拶をする。	一斉	・元気に挨拶をすることで、英語学習の雰囲気を作る。	
3	2 曜日・日付・天気を確認する。	①	・曜日、日付、天気を質問する。	・一緒に声を出し、発声を促す。
5	3 ウォームアップを行う。	②	・関連のある電話での会話の既習事項を確認し、本時の内容につなげる。	
5	4 基本文の導入を行う。	⑤	・状況設定を明確にし、会話の内容を推測できるようにする。 ・want や tell, to 等のキーワードを生徒から引き出せるように生徒同士で相談させ、内容を理解できるようにする。 ・聞き取れたことを生徒から引き出し、対話の内容を確認する。	
10	5 本時の学習課題を知る。 ★電話で伝言を頼もう! I want () to study hard. Please tell him to study hard.		・本時の学習課題を提示し、学習の見通しをもたせる。 ・基本表現の構造について説明をし、反復練習を行う。	・評価カードに記入を促す。 ・予習（ノート）を確認する。 <C の生徒への手立て> ・机間指導を行い、理解の深まらない生徒のそばで個別指導をする。生徒と一緒に練習する。
	(1)パターン・プラクティスをする。 (2)ノートにまとめる。	② ③	・意図的に指名し、生徒の理解度を確認しながら練習させる。	
8	6 内容を理解する。 (1)モデル・リーディングを聞く。 (2)内容を確認する。 (3)音読をする。 (4)ペアで会話練習を行う。		・マイクの役を演じる。 ・会話の内容を確認する。 ・意図的に指名をする。	・ジュディの母の役を演じる。 ・ヒントを与える。 ・机間指導で個別指導を行い、自信をもって読めるようにする。
10	7 スキット作りを行う。 (1)デモンストレーションと説明を聞く。 (2)ペアで練習を行う。 (3)中間発表をする。	ペア ペア ④	・活動内容について説明をし、積極的に活動に取り組めるようにする。 ○ペアで協力をして、互いにスキット作りと会話練習を行わせる。 ☆ペアで協力し、学び合うことで、思いやりの心を養わせたい。	・終わったペアには暗記をするように助言をする。 ・取り組みの遅い生徒には、個別に指導をする。
5	8 本時の学習を振りかえる。 (1)評価カードに記入する。 (2)次時の学習内容を知る。	①	・評価カードに基本表現の英文を記入させる。 ・本時の学習を振り返り、自己評価カードに記入させ、生徒の取り組みを称賛する。	・生徒に記入を促す。 ・机間指導を行い、自己評価カードの英作文の記入で悩む生徒を個別に支援する。
2	9 おわりの挨拶をする。			